



造船科・造船部

今年も念願2種目制覇 福岡の大会

須崎エソラー艇V2

【須崎】中四国、九州の企業や学生チームが競う「柳川ソーラーボート大会」がこのほど福岡県柳川市で開かれ、須崎市の須崎工業高校造船部の2艇が、「周回」「スラローム」の各学生の部でいずれも優勝。準優勝を独占した。スラロームは昨年に続き、一般の部のタイムを上回る大会新記録を達成。炎天下に特訓を積み、念願の2種目制覇を初めて成し遂げた部員たちは「練習が生きた!」と喜びを爆発させた。

(八田大輔)

造船部「練習が生きた」



V2を成し遂げた須崎工業造船部員ら

(須崎市の同校)



柳川城の堀を疾走する須崎工業艇 (福岡県柳川市=同校提供)

メンバーは、3年生の田村朋千(ともかず)君(18)、2年生の嶋崎史晃君(16)、1年生の岡本正(まこと)君(16)、森守君(16)、矢とくにバッテリーを交換

野智暉君(15)、岡本昌大(あきひろ)君(15)の計6人。大会は今年2、3の週日、柳川城の堀(1周約3・1キ)を3周する周回と、直線100メートルに浮かべたパイの間を縫うスラロームの2種目で開催。一般の部に14艇、学生の部に28艇が出場した。同部は2011年に周回で初優勝。昨年はスラロームで優勝したが、周回が悪天候で中止となり、2種目制覇を達成できなかった。満を持して挑んだ今回は周回でハフニングが発生。各艇は1周(16)、森守君(16)、矢とくにバッテリーを交換

会場には同校OBも関東や関西から駆け付けて声援。東京都在住の野瀬公介さん(16)は「孫の世代が新しい伝統を築いてくれていて、久しぶりに感動した」と大喜びだった。部長の田村君は「ハフニング以外はみんな素早く動き、ドライバ1が頑張った」。1、2年生は「まだまだ課題はある。来年はタイムをもっと短縮して優勝する」と意気込んでいた。



全国制覇

～昨年を上回る快挙～

第19回柳川ソーラーボート大会
スラローム・周回の部

2部門1, 2位フィニッシュ!